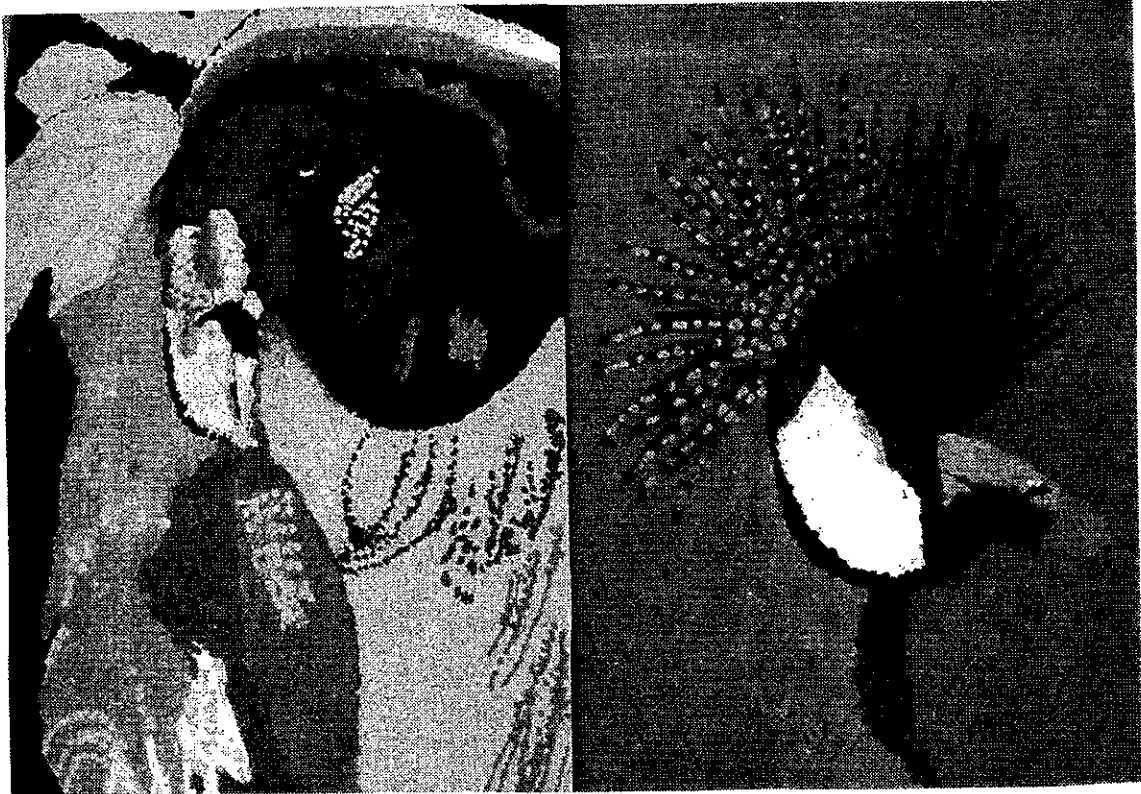


ねん がつ
おの なかま いま か みらい そうぞう
多くの仲間とともに現在を変え未来を創造するために 2012年6月

KSKQ ファースト・ラン NO. 82



『とり』

黒田 恭亮 氏
くろだ きょうすけ し

スタッフリレーコラム～こんなメンバーであんじょうやっています～

『箕面の逸品』

さくしゅう、テレビで興味深いものを見つけました。箕面市長もイチオシの箕面の新たな逸品です。東急ハンズでも品薄でしたが、たまたま友人から聞いて171号線沿いのデューク書店に駆けつけました。それは、鍵付きのガラスケースの中に一本一本丁寧に箱に入っている綺麗なかざられていました。店員さんの話によると地元だから特別に融通してもらっているとのこと。背中に“夢”と書かれた作務衣を着ているあぐら姿の職人をワンポイントにしたとてもシンプルなデザインに強いこだわりを感じました。

“MISOKA”というこの歯ブラシは、毛先にナノミネラルをコーティングしています。その働きで歯の表面が親水性になり、高層ビルの壁が雨水によってキレイになる技術で、口の中の唾液で汚れが付きづらくなり、朝磨いたままの状態が夜まで持続するのだそうです。水に漬けて磨くだけでツルツルとサッパリとした爽快感！ さすが1050円★ナノテクはタダモノではないと感動しました。30日(三十日)で魔法がとけてしまうなんてモッタイナイ！！ 再利用できるのなら、もっとエコでいいですね！ (庄川 由美)

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 定価百円

ちいさなこころ 地域交流センター「さんかくひろば」

しどう 初 始動に向けて！

わたしが小学校 2 年生まで住んでいた豊中市の向丘には、裏山に洞穴があり、すすきの野原があり、千里川にはザリガニがいました。夏には朝から近所の子どもたちと一緒にクワガタを捕りにいたり、秘密基地を作ったりして時間を忘れて一日中遊んでいました。

いつからでしょうか、全力で走りまわって遊ぶ子どもの姿を見かけなくなりました。私が子どものころ遊んでいた辺りは高層マンションや駐車場になり、アスファルトに覆われてしまいました。このような環境の変化により最近の子どもたちの主な遊び場は家の中へと移り、外遊びをする中で自然にできた異世代の子どもや地域の大人との交流が少なくなっています。

その中で、放課後の子どもたちの居場所が限られてくる事が問題としてあげられます。特に障害のある子どもの場合、学童保育が小学校 6 年生で終わった後は、支援学校でのクラブ活動がほとんどなく、普通学校でも入れるクラブが少ない為、友達と遊ぶ機会も少なく、家で家族と過ごす事ばかりになるのが現状です。

これまでミントは障害をもった子どもたちの休みの活動の場として、夏休みに障害のある子ども向けのイベントやアートサークルなどを行ってきましたが、子どもたちともっと継続した関わりができないかというのが課題となっていました。障害者が自立するためには、子どもの頃から地域の人との交流を持ち、家族以外に関わりをもつ人が必要だという思いがあったからです。

そんな中、箕面市の支援学校や支援学級に在籍している保護者のグループ、スマイルシードさん

の「障害のある子どもが地域で過ごす場所がない」という問題提起をきっかけとし、保護者や教育現場に関わる方、地域の NPO、障害者事業所のスタッフなど地域の関係者の方々と共に、障害児の放課後支援の取り組みについて話し合う全 7 回の検討会を持ちました。



ミントで行った
夏休み子どもダイニングです。↑

支援の必要な子どもたちに放課後の活動保障を！

子ども時代を豊かに過ごすことのできる場所を！

障害のある子どもの活動の場づくりのためにカンパをお願いします

近年子どもたちをとりまく環境は大きく変化し、放課後の子どもたちの居場所の保障が社会問題化しています。まして障害のある子どもたちは、学童保育が終了する小学校6年生以降は、家以外に過ごす場所が極端に少なく、多くの子どもがクラブ活動も保障されず、家族が障害児を抱えこむ「家族カプセル」化が大きな問題となっています。

その課題に取り組むべく、障害のある子どもたちが地域の大人や、同世代や異世代の障害のない子どもと交流できる場づくりを進めるため、私たちは今年8月に箕面市牧落3丁目に地域交流センター「さんかくひろば」をオープンします。

「さんかくひろば」は「相談支援」「送迎サービス」に加え、障害のある子どもの「放課後等デイサービス」を基本事業としますが、目玉は市民交流スペースです。そこを障害のある子どもたちが地域と関わりながら過ごせる『家でも学校でもない第3の場所』にしていけるよう目指します。まず、コミュニティカフェ(たこやきを焼きます。)を設け、そこを地域の人たちが集える場所にしていきます。

制度の枠を超えた活動です。運営資金が足りません！

いただいたカンパは市民交流スペース(コミュニティカフェなど)の運営資金に充てます！

ご協力どうぞよろしくお願いします。ご不明な点はなんなりとお問い合わせください。

個人 1口 1000円 団体 1口 10000円

同封の払込取扱票でお振り込みをお願いします。

カンパ振り込み先 箕面市障害者の生活と労働推進協議会 郵便振替00900-1-233283

問い合わせ先 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

TEL072-720-6806 FAX072-720-6808

担当 細谷

コミュニティカフェ運営などに

協力していただけるボランティアさんも

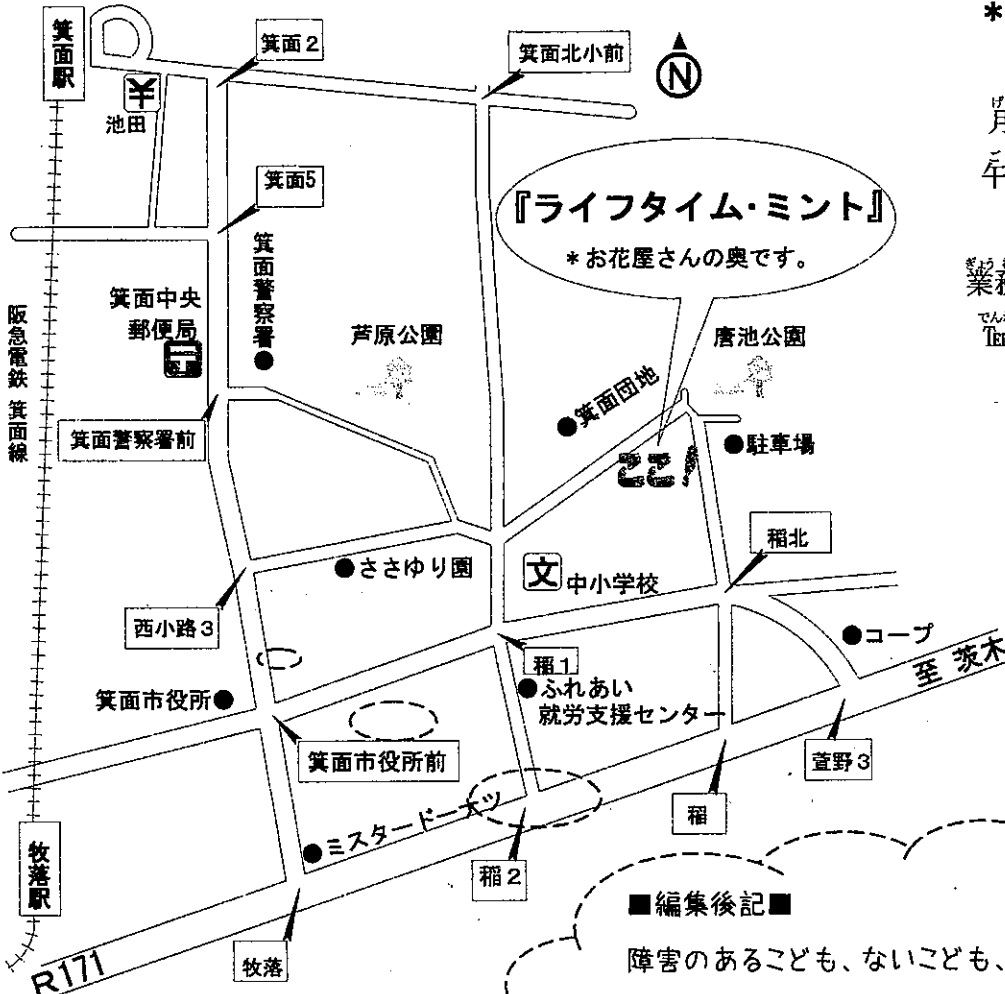
同時募集中です！

どうぞよろしくお願いします。



◎ ライフタイムミント ◎

ライフタイムミントでは電話・FAX・Email・H P・来所・訪問や出張所等様々な方法で相談を受け付けています。



* 業務日時 *

月曜から土曜
午前10時～午後6時

業務日時以外の連絡先
TEL 090-7883-2999
(片野坂)

■ 編集後記 ■

障害のある子ども、ない子ども、という表現一つで、色々と議論した編集でした。
言葉で伝えるって責任もあり難しい!

特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会 『ライフタイムミント』

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号

電話 (072) 720-6806 FAX (072) 720-6808 E-mail: mintlife@big.or.jp

<http://www19.big.or.jp/~mintlife/index.html>

編集 / 特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話 072-723-3342 FAX 072-723-6506

E-mail: JDW07270@nifty.com 郵便振替 00990-4-116066

発行人 / 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル 4階

一九九二年九月三日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 定価百円